発行所 東京都文京区大塚町
お茶の水女子大学内
社団法人 大学婦人協会
電話 大塚 (941) 9210
編集兼発行人 一番ケ瀬 康子
発行日 昭和37年7月4日
(第47号)

JAUW

JAUW 会員章

会長の役をお受けして

北村　孝

此の度会長の役を受けさせていただくことになりましたがここ数年間に於ける本協会の著しい発展をみてまことに喜ばしく存じます。一方それだけに一層責任の重大さを感じさせられて居ります。組織も整い資金も一応のめどがついて夫々の責任者のもとに事業が進められるようになりましたことは一重に先輩諸姉の御努力によるもので感謝のほかございません。之を受け継ぐものとしてはまことに微力でございますが出来得る限りを尽し度いと存じて居ります。役員、委員、会員各位の御協力と御支援を切にお願いいたします。

組織を固めることに御努力下さいました先輩の御苦労はなみなみならぬものでありましたでしょう。困難な募金をここまで達成されたお働きと御努力に対してもただただ敬意を表します。こうして出来上ったものを受け継いだ私共の任務は一見容易なように思われますが、築かれたこの基礎の上に立って本会は、又会員各自は如何にあるべきか、何を為すべきかをあらためて考える段階に達した今私共には楽しい大きい責任が負わされております。内外学生の奨学の為の仕事、婦人の地位向上の為の活動、世界親善と平和に向っての運動、会員自身の問題等私共に与えられた課題は多様で且大きいものです。これらの問題を研究し、具体的活動に移して行くために共に考え力を合せて働きましょう。

今年はIFUW総会が開催されて、日本からも多数出席いたしますことはよろこばしいことでございます。IFUWの一員として私共の果すべき役割と責任は益々大きくなることを思うときに全国の会員は一致協力して今の健全な成長と発展の為に活潑に動かなければなりません。会員諸姉の自覚と御尽力をお願いいたす次第でございます。

旧会長として

吉田武子

吉田前会長は現在、入院中でいらっしゃいますのでつぎの総会挨拶をもって、会長挨拶にかえさせていただきたいとのことでした。

挨拶にかえて

社団法人大学婦人協会第五回総会が、皆様の御努力によりまして、ますます発展の途上にあって、本日、大阪市天王寺本坊においてもたれますことを、大変おめでたく存じます。

お蔭をもちまして、本会の目的達成のための三十六年度の諸事業および募金が予期以上の成果をおさめ得ましたことは、全く、本部支部、役員、会員皆様の積極的かつ熱心なる御活動の賜とありがたく存じております。本会が社会からよせられている期待がますます大であり、また、国際的にもなすべきことがますます多くなりつつあることを知り、もっともっと私共の良識を高め、勉強しなければならないと思います。したがって、本総会において、次年度への新しい希望と計画のために充分な健闘と決意とが期待されるのでございます。

この総会が、皆様の善意により、無事におわりますよう祈願いたします。

この会のために大阪支部および関西の方々にいろいろご配慮いただきましたことをあわせて感謝いたします。

なお、会長自身、この総会に出席し義務を果し得ませんことを深くお詫び申し上げます。

第5回定時総会報告 I

社団法人大学婦人協会第五回通常総会は、去る四月一日午前十時より大阪の名刹、四天王寺本坊に於て開催された。

今回は本部所在地から離れた地での総会であったが大阪支部の支部長はじめ役員会員の細かな配慮による御準備で出席者も百名に近く盛大な会であった。

吉田会長が御病気のため出席がかなわなかったのは何とも残念であったが本部より理事十四名監事一名、東京、大阪、静岡、秋田、神戸、数潟、奈良、大分、愛知、茨城、京都、岐阜の十二支部より支部長、会員が出られて合計九十三名委任状提出者は二百八十六名であった。

石森千代副会長が議長をつとめ、村井孝子副会長が司会、本部書記若林花子・伊東滋子と大阪支部の高橋志摩子・北村美佐子が記録書記を勤めた。立派な模範に囲まれた方丈の大広間で午前は本部事業報告と支部報告。記念撮影と昼食休憩の後、午後は重要議題の審議を重ねその後大阪伝統の吉田栄三氏の文楽の実演や関西大学講師吉永孝雄氏の解説を伺い、次いで四天王寺出口管長のお話と宝物、金堂、五重塔の拝観更に庭園に設けられたお茶席で野立を頂く等、盛り沢山の有意義な一日であった。尚、前日は同じく大阪支部のお世話とおもてなしにより総会準備の評議員会と歓迎夕食会が開かれ、又翌二日は京都支部の方々によって京都観光の会が催され、多数参加、大学婦人協会の楽しい行事がくりひろげられたことを感謝申上げる。

次に総会の報告事項と決議事項の要点を記して御報告とさせて頂く。

一、挨拶

総会成立宣言及吉田会長よりの挨拶伝達、石森千代　竹内美代

歓迎のことば

二、報告（詳細は会報43・44・45・46号参照）

1 三十六年度事業報告

事務報告　書記若林花子

会員数二〇〇二名　新入会員七四名　理事一九名　評議員二八名　監事二名　理事会々報一七回、三十六年六月本部事務所を桜蔭会旧館に移転した

会計報告　会計大規高子

今井富美枝

別項の通り収支決算を報告

財務委員長　辻　きよ

昨年度に引続き募金を完成し、会の充実を図る為努力。東京支部と催物が重複せぬよう計画した。十二月のダンスパーテー及一月の国内奨学金授与式の際にラッフルを行い純益を国内奨学金に繰入れた。

国内奨学委員長　山西　貞

一月十三日国内奨学金授与式を行いお茶の水女子大のの久米学長とミセス・オートンの御祝辞を賜り又式後斎藤清先生に版画についての講演及実演をして頂いた

ホルムズ奨学金は奈良女子大二口京子に授与。

国内奨学金は研究学徒四名、大学四年次女子学生十七名に授与した。いずれも成績人物ともに優れた学究ということを大学より保証され、学問上の業績の優れた方々である。受賞者の選考方針としては本会の奨学金は学問人物の優れていることの証明となるよう格の高いものでありたいという処においた。選考委員は会員中の学識経験者十氏をわづらわした。

国外奨学委員長　高橋憲子

一九六二年度AAUW奨学生に津田塾大学卒　東大大学院で英文学専攻の川本静子と決定した。

国際委員長　大島清子

国際会員の来訪者は米国十六名、英国十二名ドイツ三名、伊国一名、カナダ一名、豪洲二名、印度一名、計三十六名その他滞日中の国際会員は本会の催物に招待する等いづれも心を尽して歓待し意見の交換をして国際親善と相互理解の増進に努力した

七月オーストリアで開催の第四十三回IFUW評議員会に委員青木満里子出席

本年七月メキシコ市にて開催のIFUW総会出席について関係官庁と交渉中。

英国ゴールドン博士、独国シュブアルツハープト博士、ノルト女史それぞれの講演会に会員多数出席。

ミスチャペル姉妹　ミセスデーリーの歓送会、ゴールドン博士歓送会等開催。

クリスマスカードを各国大学婦人協会に発送。

IFUWの要請に応えて諸種の調査資料十数通発送

英国大学婦人協会の国際バザーに協力、日本調豊かな寄贈品を送った。

婦人地位委員長　高桑花子

「家庭婦人の社会的活動に関する実態調査」を文部省の助成金を得て計画実行中。

IFUWよりの依頼を受け、日本婦人の法的立場等について回答を送った。

婦人週間に当り、全国婦人会議に出席助言した。

文部省主催全国婦人団体幹部研究集会に出席

売春対策国民協議会に参加協力した。

報道委員長　真田淑子

三月六月十月二月の四回会報を発行。発行日は会の行事との関係があるので規則的にゆかない。地方支部も豊富な実際活動をせられて会の発展を企図せられると共に、本部へ記事を寄せて頂きたいと思う。

基準委員長　波多野勤子

審査申込用紙を作ったので加盟希望の際には利用されたい。本年加盟希望の大学は関西学院大学と秋田大学と総会間ぎわに大阪市立大学があった。慎重審議の結果関西学院大学は適当と認められたので理事会に報告承認を得た。総会に於ても承認されたい。

鈴木布美

会員委員長　原喜美

第四回総会に於て定款を改正　正会員の会費を六百円とし、入会金百円を納入の事とした。又賛助会員の項を設け、年会費五千円を納入し、本会の目的に賛同し事業の発展を助成する個人又は法人の入会を期待することになった。本会の為に講演、実演をして下さった版画の大家斎藤清先生が謝礼を寄附して下さったので賛助会員第一号になって頂いた。本年度は多数の賛助会員を得られるよう会員各位の協力を願っている。

尚本部備えつけの詳しい会員名簿を作成中である。

企画委員長　上野シゲ代理

野田静子（副委員長）

かねてからの念願である本会の会館建設の希望に合わせ会報44号に「海外留学生会館建設の夢」と題して委員長が述べている通り東南アジアからの留学生のお世話をしているうちに大学婦人協会の仕事としてふさわしい留学生会館を建てたいという希望が高まり、国家的見地からしても必要な事なのでこの問題に取組んだ。大蔵省外務省、関係諸団体千葉県等にも進出して研究を試みている。

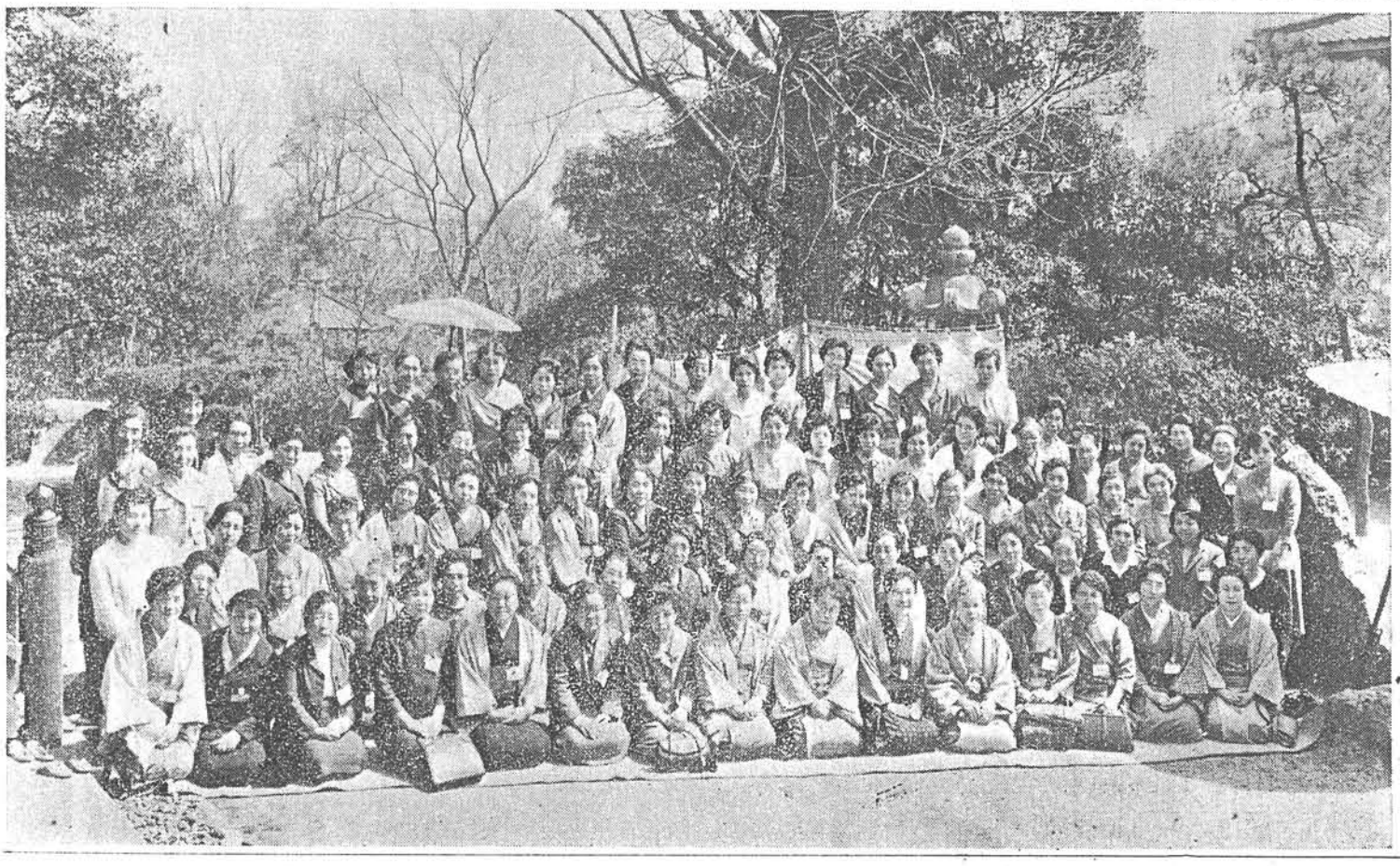
児童福祉委員長　松本武子

歳末に当り衣料を集め六施設に寄贈し、感謝された。

学校教育委員長　原喜美

昨年三月にアジア財団から研究補助費をもらって「女子学生の意見と態度」調査を開始　女子大学八校共学大学十校の女子学生にアンケートを発送　一三三八通の有効回答を得て、現在報告書作成の段階である。

（次頁に）



（於四天王寺庭園）

新役員

会長	北村　孝
副会長	村井　孝子
書記	若林　花子
会計	伊東　滋子
〃	今井富美枝
〃	小野　きく
財務	真田　淑子
企画	関根　初枝
国内奨学	山西　貞
国外奨学	高野　フミ
国際	柏谷　よし
学校教育	服部　広子
地位向上	高桑　花子
NGO	田辺　幸子
大学基準	近藤かつ代
会員	加藤ハツコ
報道	一番ケ瀬康子
東京支部長	福永　サチ
〃 監事	天達　文子
〃	野見山不二

第5回定期総会報告 Ⅱ

NGO委員会　鈴木布美

国連総会政府代表代理に久保田きぬ氏を推せん、その他国連大使、国連総会政府代表及び代理の歓送迎会や報告会に出席又国連協会主催の婦人指導者セミナーに出席した。

募金委員会　書記若林花子

昭和三十六年四月三十日をもって会員外の募金の免税の期限が到来したので、六月末までの二ケ月を整理期間としてこの間に行きがかりのあるものを整理した。七月になり整理期間もすぎたので、募金委員会を解散し残務整理委員会を置いて専ら残務の処理を行った。募金は本会事業基金として本会の資産にくり入れることとなる。なお会員の寄附金は解散後も受入れを継続し、未納の会員には寄附をお願いする等の努力を続けている。

支部報告（要旨）

東京支部　講演会三回　テレビ見学等により会員の向上を図るとともに、資金集めの為にラッフル抽せん会を催した。その他東南アジア留学生のための会をしたり日本語教授を行った。その他本部の行事に協力。

静岡支部　例会と役員会を隔月に催し、例会の際に講演会や見学等を行った。母の日のカードを売ってその純益を小学校に「遠足に行けない子供の為に」として寄附した。

秋田支部　会員の懇親会を三回。その他東南アジア留学生の歓迎会を開いたり、秋田で開かれた国体に協力した。

神戸支部　会報上でその都度報告したので詳略。

新潟支部　一番大きな行事としては十三年来続けている奨学金の授与でこの式には県知事も出席して下さり大変好評である。資金のための仕事も軌道にのせることが出来た。

例会も開いているがもっと盛んにしたいと希っている。

奈良支部　月例会を第三土曜に開き、又本会定款に従った範囲で他の婦人団体と協力、地域婦人活動に参加している。その他、国際親善については会報46号に報告した通り。

大分支部　郷土をめぐる会その他の親睦会を開いた。

愛知支部　映画観賞会や講演会を例会の際に開催。

女子高校三年生、大学女子学生、本会々員の三者懇談会を開き、進学指導した。

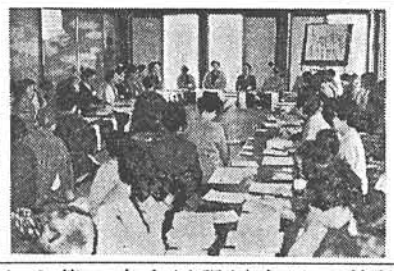
茨城支部　第三土曜に月例会を開き会の報告や今後の活動につき協議する。

女子学生の進学指導を行い、そのため地方大学の実情調査をしたり、奨学金の授与を行っている。

他の婦人団体と横のつながりを持つ事の提唱者となり協力している。

京都支部　昨年から引続き村山リュウ氏の源氏物語講演会や、その他憲法の話、アユの連続講演会を開く。東南アジア留学生のための会合を秋と新年に持った。

大阪支部　例会、役員会を毎月開催、十二月迄の行事は会報で報告済みなので詳略、その後一月に村山リュウ氏のソ連旅行の歓送会をかねて新年会、二月世界情勢に関する講演会、三月ロツクハイム夫人を囲んで日米婦人の社会的活動や地位についての懇談会を開く。



もう少し大学婦人協会を世間にPRして勉強すると共に社会に貢献したいと願っている。

岐阜支部　懇親会を年四回開き、他の婦人団体と協力している。

三、審議決定事項

(1)**定款改正**

本会定款第六条の(4)として「外国の大学婦人協会の会員で日本訪問中の人は、その訪問が公式であると非公式であるを問わず、本会の会合に出席することができる。但しこの場合総会の決定によらなければ決議権を行使することはできない。」

第十一条の　として「総会の決議を経て会長より除名処分を受けた会員は総会に異議を申し立てることができる」

右の二項をつけ加える。

(2)**ホルムズ奨学金授賞の順位**は、加盟年度順とし、同順位の場合は抽せんにより決定する。従って本年度は大阪女子大学に、来年度は

同志社女子大学に授与する。

(3)本年七月メキシコ市に於て開かれる第十四回国際総会に十二名の代表を派遣する。

(4)**外国人留学生に奨学金を授与**　本年はタイ国の女子留学生に対し本会事業基金利息より参考書購入の名目で奨学金を授与する。

(5)**留学生会館建設**の実現に向って努力する。

(6)**昭和三十七年度予算案**承認（下段の表参照）

(7)昭和三十六年四月末日をもって終結した募金を次の内規により管理する。

事業基金に関する内規

第一条　昭和三十四年二月より三十六年四月まで行われた募金は「大学婦人協会事業基金」と称する。

第二条　事業基金は定款四十条により会長が別途保管する。

第三条　この事業基金は募金の趣意に則り次の目的に限り使用するものとする。

1、奨学金

2、国際関係に要する諸費

3、本部事務所建設に要する費用

第四条　事業基金を使用する際は定款第四十一条により理事会の決議を経て総会に於て決定しなければならない。

第五条　定款第四十二条により、事業基金より生ずる利子は内規第三条に示す目的遂行の為に使用する。

特記

1、当初壱千万円を目標として行った募金は未だその初期の目的額に達していない。従って目標額に達する迄は利子の一部を基金に繰入れることを希望する。

2、この基金の使用に関しては、この基金を募金した際の会長、募金委員長、理事、監事、評議員、その他適当と認める者と協議することを希望する。

3、未協力会員に今後の協力を希望する。

(8)**新加盟大学**として関西学院大学を承認する。又大阪市立大学が加盟を申請しているが審査した上で理事会が加盟の資格があると認めた場合には三十八年度総会を待たずに加盟を認める。

(6)前年度支部提出議題

○**準会員制度**　IFUW定款に準会員はない。従って日本で準会員を設けることには問題があるので今夏メキシコに於ける総会に出席する代表に託して研究をすると共に、更に一ケ年、本部支部で研究をする。

○**本会加盟基準**によって文部大臣認可の四年制大学は一括加盟とせず、加盟申込みがあった場合に個々に資料に基いて調査し決定する。芸術大学、医科大学等専門性の強いものについては尚研究する。

(10)　**役付理事及監事**

原案通り信任（別項参照）

(11)**役員選考委員**（順不同）

粕谷　よし（津田塾大）
吉田　武子（お茶の水女大）
井上　秀子（東京女大）
石森　千代（日本女大）
小川　文代（奈良女大）
門野　まり（聖心女大）
三宅えつ子（神戸女学院大）

(12)**次期総会**は昭和三十八年四月第一日曜に東京に於て開催の予定。

総会後の観光について

西村藤江

四月一日大阪で総会があり各地より御参集の皆様の御希望を四月二日京都観光にきて頂いたわけでありまして。

当日四月二日午前十時京都駅前に七十二人の七観光バスを待機して大阪より御入洛の皆様につぎつぎとバスに乗車していただきました。案内嬢の説明をききながら一路烏丸通りを御所へと走りました。御所拝観とバス嬢の案内で一般拝観者の列に加わったわけでした。美しい壮厳さと昔の王城らしい雰囲気を味っていただき正午拝観を終りました御奥の拝観をかなえていただくべく前もって名簿を提出し手続きをいろいろいたしておきましたのに当日の為めの連絡不十分でそれが出来ず皆様に大変相すまなく存じています。次の機会に是非実現いたしたいと思っています故何卒御ゆるしを願い上げます。昼食は同志社デントン記念館にてゆっくりと和やかにいただくことが出来ました同志社では大学婦人協会役員の武間姉が理事でおられる関係上此の度は一方ならぬ御厚情に預り総長先生まで御挨拶にお見え下さいまして誠に感激いたしました。

同志社をあとに二条城を観せて頂きにバスを走らせここも昔ながらの美しい建築の標本さながらの味わいと規模の大きいことに我が京都の文化財としての誇りを十分に観賞していただけたと存じました。

次に銀閣寺を拝観いたしましたここは金閣寺と並ぶ京都の名所である名高い銀箔をあしらった三層の建物に名庭園を持った足利将軍の別荘であったところであります。皆様心ゆくばかり美しさに酔っていらっしゃる御様子でした。時間は三時過ぎていましたそれより比叡山ドライブウエイにさしかかり京都の北にそびえる高さ八四八米の山へとバスにて易々登りました。頂上近くの観光ホテルにて茶話会を開き昨日からの思い出話に花をさかせたり楽しい語らいの中にお別れの会をいたしました。遠景も案じていましたが皆様の御精進で曇りがちの空もだんだんと晴れ上り、びわこの美しさも見る事が出来何よりでした。本部よりの遠来のお客様方九名様は山頂で御宿泊になり他の会員様方は夕やみせまる頃下山いたしました。ふりかへりまして地元の私達の不行届きにもかかわりませず皆様方に御機嫌よく観光をおつづけ下さいまして厚く感謝いたしております。天気もややもすると雨になりそうな空模様のところ持ちこたえましたし何もかも好都合に参りましたと存じています。御帰郷後各地の皆さまより御言葉にあまる御礼状を頂戴いたし恐縮いたしました。紙面をかりまして御礼申上げます。以上御報告申上げます。

大阪支部よりのお礼状

大阪支部　竹中　美代

四月一日の第五回総会には本部理事の方々をはじめ百名に近い各支部の方々の御参集をいただき、皆様の御協力より誠に有意義なお集りを持つ事の出来ました事を主催地側として厚く御礼申上げます。

花にはまだ少し早うございましたが仏教発生のゆかりの地にて直接皆様に親しく御目にかかり、同じ活動目的を持った人等の温い血の通いを感じつつ、報告、協議、議決とスムースに議事の運ばれました事は、本部理事の方々の充分な御準備と日頃のお骨折りのたまものと深く感謝いたして居ります。

大阪支部役員一同も、遠き地よりはるばるお出下さいました皆様に対し、意義ある楽しい思い出をお持ち帰りいただき度いものと、心からあれこれと準備致しましたが不行届きの点も多々ございました事と存じます。ことに評議員会々場の変更が不徹底で御迷惑をおかけ致しました事をお詫び申上げます。

色々と直接事に当り経験させていただきよき反省によって次への進歩がもたらされれば何よりと存じます。

評議員会総会共に時間的にもう少しゆとりがほしいと思いました。本部各支部のお互の理解を深めるためにも、会の成長のためにも、もっと意見の交換話あいの時を持った方がよいのではないでしょうか。

そしてこの大切な一年一度の総会が私共の会のよりよき発展の力強い原動力でありたいと思います。

短い二日間のお交りでございましたが終始なごやかに旧知の友と語りあう心地でございました。

今後も本会の目的に向って尚一更の励みと努力を忘れる事なく、本部支部共に心を一つにして温い愛情と奉仕を捧げてまいり度いと思います。

皆様の御健康と御活躍をお祈り申上げます。

尚当日御有志の方々より四天王寺へ金五千円也お寄附いただきました事を厚く御礼申上げます。

昭和37年度　大学婦人協会予算

収入支部 項目	金額	支出之部 項目	金額
第1 基本財産収入	518,000	第1 事務費	1,058,000
第1 ホルムズ基金	18,000	給料	180,000
第1 募金利子	500,000	諸給費	70,000
第2 運営財産収入	8,000	通信費	15,000
第2 普通預金利子	8,000	交際費	55,000
第3 会費収入	880,000	当番費	6,000
第3 正会員会費	720,000	備品費	100,000
第3 〃維持費	50,000	消耗品費	10,000
第3 〃入会費	10,000	消耗品費	40,000
第3 賛助会員会費	100,000	印刷費	50,000
第4 事業収入	210,000	通信費	60,000
第4 催物収入	150,000	事務所費	162,000
第4 受験料	30,000	会報発行費	30,000
第4 その他	30,000	一般諸経費	85,000
第5 寄附収入	160,000	会議費	10,000
第5 寄附収入	100,000	会議費	70,000
第5 広告料	60,000	総会費	5,000
第5 特別収入	200,000	その他費	125,000
（文部省補助一地位部）		IFUW会費	240,000
先年度繰越金	390,306	第2 支部費	918,000
		事業費	370,000
		国内奨学部	20,000
		ホルムズ奨学金	300,000
		国内奨学生	50,000
		外人留学生	30,000
		外国奨学部	100,000
		国際部	50,000
		部費	50,000
		IFUW総会代表派遣補助	10,000
		財務部	45,000
		企画部	320,000
		学校教育部及婦人地位向上部	500
		大学基準部	25,000
		会員部	8,000
		報道部	5,000
		児童福祉部	390,306
		次年度繰越金	
37年度収入計	1,976,000	37年度支出計	1,976,000
収入総計	2,366,306	支出総計	2,366,306

昭和36年度　大学婦人協会会計決算報告

（昭和36年3月1日～37年2月28日）

収入之部 項目	金額	支出之部 項目	金額
第1 基本財産収入	538,734	第1 事務費	1,074,626
第1 ホルムズ基金	18,734	給料	167,000
第1 募金利子	520,000	諸給費	68,074
第2 運営財産収入	9,585	通信費	11,874
第2 普通預金利子	9,585	交際費・謝礼	56,200
第3 会費収入	648,200	当番費	660
第3 正会員会費	614,800	備品費	114,760
第3 〃維持費	23,000	消耗品費	9,332
第3 〃入会費	5,400	消耗品費	46,300
第3 賛助会員会費	5,000	印刷費	59,128
第4 事業収入	263,146	通信費	40,979
第4 催物収入	215,366	事務所費	139,228
第4 受験料	36,500	会報発行費	142,445
第4 その他	11,280	一般諸経費	61,088
第5 寄附収入	172,000	会議費	7,700
第5 寄附収入	80,000	総会費	49,470
第5 広告料	92,000	その他費	3,918
第5 特別収入	300,000	IFUW会費	122,052
（アジア財団より学校委へ）		支部費	214,600
		臨時費	3,740
雑収入	55,840		
先年度繰越金	296,922	第2 事業費	819,495
		国内学部	321,950
		国外奨学部	34,600
		国際部	42,342
		財務部	9,070
		企画部	9,295
		学校教育部	348,895
		地位向上部	19,299
		大学基準部	1,000
		会員部	29,470
		報道部	2,804
		児童福祉部	1,770
		次年度繰越金	390,306
36年度収入計	1,987,505	36年度支出計	1,894,121
収入総計	2,284,427	支出総計	2,284,427

納入会費内訳
34. 35年度分　372口
36年度分
500円　113口
600円　620口
合計　1105口

座談会

女子学生にきく

「女子学生の意見と態度」についての座談会より（その一）

学校教育委員会

とき　三月九日午後五時半より
ところ　桜蔭会館
ひと　本会から

原　喜美　一又　民子
若林　花子　神田　道子
平野　貴子　鈴木　輝子
共学大学女子学生　A、G、K、C
女子大学学生　F、S

司会　原　喜美

原　もうそろそろ一年になりますが、大学婦人協会が主になって「女子学生の意見と態度」調査を始めました。それは女子学生の学問と生活に対する態度を正確に知ることによって、日本の女子高等教育の発展に何等かの寄与をし度いという目的のためでした。東京と関西の共学及女子の大学十八校約千五百への女子学生の御協力をいただいて、その結果アンケートを基礎とした集計もとのいつつあるわけでございます。今日皆様にお集りいただきましたのは、皆様のなまの御声をうかがいましていろいろ御教えをいただき度いと思いますので今から二三の質問をさせていただき御気楽に御談合いただき度いのでございます。

さき程から大学での専攻のことなど伺って居りますが、大学四年間の生活のうち、省みて専門以外のことで自分が何を得たかを御聞かせ頂き度いのですが。

A　私はいくつかのサークル活動をして沢山の友人を得たことが一番良かった事だと思います。私達は綜合大学ですが、自分は文科でも理科の学生とも知り合えたし、医学部の人とも法学部の人ともサークルを通じて知り合えたことが一番嬉しかったことだと思います。

専門以外で えたもの

原　それは例えばどんなサークルでしたか。

A　一つは運動部でした。私は高校時代わりに名門といわれていたテニス部に居ましたが、三年間タマ拾いばかりして居ました。大学に入ると一挙に選手に仕立てて呉れたのです。庭球部だと特に男子の学生と友達になれたし、それに年二回合宿をして共に寝泊りしつつ一週間位練習に励むし、遠征試合にも年二三回位づつ参加していましたからいろいろな人達と知りあえたのです。それから私達の大学には東南アジアの留学生が沢山居りますが、その人達が学校に馴れてゆくための御手伝いを二年間疲れる程本気でやったのです。これも違った意味でよい友達を得たのです。

原　それは例えばどういう御手伝いでしたか。

A　私の場合は、二年生になった時一年に女子の留学生が入って来たのです。韓国とタイと台湾の方々で私が紹介されたのは三月の入試前で、「タイのお嬢さんが大学の入試をうける勉強をみて上げて呉れ。」と頼まれたのです。一生懸命に見て上げて合格したのですが本当に自分が入った時と同じ位うれしかったんです。その人が卒業する迄ずっと勉強を見て上げたのですが、そう言うとバレちゃうのですが私大学に六年間いたんです。文学部四年と教育学部二年いました。美学専攻でした。

良い先生に 接する機会

平野　友達を得るということもありましょうが、良い先生に接する機会を得たということは特に地方出身の学生などの場合、大学生活でなきゃできない経験だと思うのですがその点はいかがでしょう。

C　そういう機会は地方の大学にもあると思うのですけれども、やっぱり東京には大学も沢山ありますし、他の大学の先生に接する機会も少しはありました。

私考えて見ますと、四年間離れ小島みたいな所にとぢこもって居たということが今になってわかったわけなんです。四年間には友人もできましたし又学校の特色として留学生も多いわけなんです。留学生というと皮膚の色も違いますし、初めのうちは自分達とは違った人という感じで居たのですけれどそのうちに全然意識しなくなって来るのです。ですから自分達とあまり違わないと思う態度が新らしく入って来る留学生には何か冷たいと感じるらしく、又自分達も特に特別扱いをしなくなるのです。そこで全世界の人があまり違わない人間であることが分ったことが一つの良い事だったと思います。それから私のアドヴァイスをして下さる先生が、はじめはアメリカ人、次にイギリス人だったことからも得る所が大きかったと思います。

F　私も同じようなケースからとても幸福でした。三年の頃から、尊敬していた先生につくことが出来卒論も見て頂いて考え方感じ方などずい分影響をうけました。とても私の及ぶところでは御座いませんけれど、先生の大きな心がとてもよいなと思いました。友達もずい分出来て勉強の方よりもむしろサークルとかコンパなんかから得た友人から得るところが大きかったと思います。お友達って大切なものだナって最近すごく感じています。

C　私四年間寮生活をしていたのですけれど、寮生活というのは、はっきり言葉でいいあらわせませんけれど、今度社会に出て一人で下宿するような場合、寮生活の良さを感じるようになるんぢゃないかと思います。

S　私は大学に入って勉強の他に考えさせられたのは人間関係の複雑さでした。はじめは外へ向けての活動をしてみたかったものですから学生募集があったWSの活動に参加したわけです。募金だとか校内清掃だとか、サナトリウム訪問だとかをしてちょうど一年生の秋頃伊勢湾颱風があったのです。

それからは自分の力を出し切って仕事をやって見度いと思い American Friend Service のワーキングキャンプに参加しました。私の大学の自治会はあまり急進的でなく小人数でしたから自分の意見と自由に言えたので得るところがありました。

寮に入ってからは家庭とちがい我儘はできず、他人はあくまで他人として見るものですから内面的なつながりは得られなかったように思います。然し人とのつき合いの中から自分の欠点も直されていったと思うのです。

G　私は中学、高校とも女子ばかりの学校であったのにはじめて共学の大学へ行きましたので、はじめは何だかとまどってしまいずい分違うものだと思いました。今はもう四年も居ますから男の学生を特に意識しなくなりました。友達の範囲がとても広くなって良かったと思っております。女子ばかりの学校へずーっと行く方もありますけれど、一度位は共学の学校で勉強するのも良いと思います。サークルは専門の国文だけの集りにはいって居ましたが、やはり学校全体の人が集まるようなサークルに入った方がよかったと思って居ります。

K　私は皆さまと違い特殊な学校ですからクラブ活動もございましたけれど別にはいりません。でした。大学へ入って色々な地方の方々がいて、悪く言えば競争意識、良く言えばお互いの能力を高めるためにはとても良かったのですが、今考えてみると余りにも井の中の蛙になりすぎてしまって、他の大学の学生がどんな活動をして居るのか全然考えても見ませんでした。授業も個人授業が多く、同じ先生についている人しか知りません。個人対先生とか人づきあい等を学んだと思います。

共学と女子大学

原　共学の大学、女子だけの大学について色々と特色があると思うのですがその点について特に良かった点とか、或は困ったことなどについて、又女子大学の方から見た共学、共学の方から見た女子大学というような事についてもうかがい度いと思います。どうぞ。

G　私の場合、はじめ男の学生とどうしても口をきくことが出来ませんでした。私の高校からは私一人が入ったので女の友達さえ無くて仕方なくサークルに入りました。一年生の終りに有志でハイキングに行き勉強以外のことでお友達ができました。授業中に男子学生はもっと活潑かと思いましたが国文科の男子学生は割合おとなしいのです。女性的なところがあるのです。男の学生は男子の大学に来たのに女子大学に来たみたいな気がしてやり切れないといいます。

（以下次号につづく）

国連婦人地位セミナーに出席

若林花子

三月に東京で開かれたエカフェ第十八回総会に引きつづき、五月八日から二十一日まで、国連婦人の地位セミナーが品川プリンスホテルに於いて開かれました。国際大学婦人協会（IFUW）は国連非政府機関（NGO）の一つとして、ILO、WHO、UNISEFなど、共にオブザーバーを出すことになって居りますので、IFUWの代表として代理二名と共に出席いたしました。

このセミナーは「結婚の年令、同意、形式」「結婚が婦人の法的地位に及ぼす影響」「婚姻の解消、無効、裁判上の離婚」「親の権利義務」「未婚婦人の法的地位」「相続権」「家族法に於ける婦人の地位に影響を与える社会的諸要因」の諸議題について、アジア地域二十一ケ国の政府代表及び、非政府機関から、法律家、婦人運動の指導者を会合せしめて、その経験と意見を交換することに目的があるようです。

この議題については、昨年六月ルーマニアのブカレストで、すでにセミナーが開かれ、IFUWからは、ウオルフ博士が出席せられてその報告書も出されて居ります。

この度は地域をアジアとし同じ議題がとり上げられたわけであります。

東はフイージー、西はイラン、北は日本、南はオウストラリアに至る広い地域からの代表は、お互に隣に居ながらあまり知る機会のなかった家族法を報告し、参考意見をのべあったのでした。

最終のセッションに於いて各国代表は、めいめい、国連、日本政府、議長に感謝し、このセミナーの効果を信じ、セミナーを通じ各国に友人を得たことを述べ、人類の将来に希望を持つ可能の喜びを述べ合いました。オブザーバーを代表してパキスタンのハッサン夫人が謝辞をのべられ、感激のうちに閉会に到りました。

思うにアジアに於いては法律以前の問題が多く、国連の理想とするところには程遠いものがあるように思われます。或る国の代表は「自分の国では特に婦人だけの団体は不必要である」という事を言いましたが、法律と実際の隙間を埋める役割はやはり婦人団体も負うべきではないかと考えさせられました。代表の中には各国大学婦人協会の会員も多くこの方々と会期中のある日の昼、会場のロビーでお茶のひとときをたのしみました。出席の代表は次の通り。

Miss M. R.Sermsri Kasemsri (Thailand)
Mrs. T.J.J. Chien Wong (China)
Miss. M. Kingston (Australia)
Miss. R. Mitchell (Australia)
Miss. P.M. Webb (Mew Zealand)
Mrs. M. Siraj (Singapore)
Mrs. L. Paredes-San Diego (Phillippines)
Mrs. M. J. Lam (India)
Mrs. A. M. Abbas (Indonesia)
Mrs. T. Hassan (Pakistan)
Mrs. G. A. Tillett (U. S. A.)
Mrs. S. Grinberg-Vinaver (United Nations)
北村　孝、伊東滋子、村井孝子、今井富美枝、若林花子、粕谷よし、高桑花子、田辺繁子、田中照子、田辺幸子

IFUW総会出席者および国学奨学生の歓送会

六月十六日、桜楓館で開催。野見山団長をはじめ、総会出席者は九名、また、エール大学留学予定の川本静子氏が出席し全員約三〇名のなごやかな会だった。

ボーナスは三井の財産づくりコースで
■財産をふやすコース
■積み立てるコース
■利息をたのしむコース

貸付信託
1口1万円　元本保証
予想配当率　年7分3厘7毛（5年もの）
三井信託銀行
本店　東京日本橋室町
支店　都内及全国主要都市

ビタミンCは毎日必要ですが
とにお料理の残念なこと
ときにこわれやすいのです
一番いいのは
Cをそのまま
とることです
プラッシー
武田食品
月ぎめ1本25円（びん別）
お米屋さんにあります

支部だより

仙台より

支部の会員少く活動も出来ませんが、他支部と変った委員会を持っています。

リヴアサイド奨学金委員会で、殆んど唯一の活動になって居ります。その行事大略

三十六年四月二十四日　モール記者（アメリカ国務省援助による交換記者）歓迎すきやきパーティ

五月二十五日　女子学生十五人に奨学金前期授賞式

六月九日　苺ピクニック

十月十一日　後期授与清水三千江氏渡米送別

十二月九日　クリスマス贈物伝達

37年三月　卒業生祝賀コンパ福島夫人の渡米談とスライド

四月二十三日　今年度奨学生選考

五月二十六日　授賞式

その間委員会は屢々開きます。リヴアサイド奨学金はリ市のＡＡＵＷが中心となり他約二十の婦人団体と協力して、毎春バザーを開き拠金されるもので、私たちの結びつきは発展して仙台とリヴアサイドと都市連盟を結ぶことになりました。

先日、来仙されたライシャワー、アメリカ大使の歓迎会で、島野仙台市長から両市連盟の起原者として大使夫妻に紹介されました。

（五月九日）

この奨学金は一九五三年に設定されましたから、既に十年継続し、金額は百二十万円、学生数は六十五人に達し長きは大学院卒業まで六年七年に亘って援助しています。参考のために要項を記します。

仙台と都市連盟リヴアサイド奨学金

○成績優秀で将来有望な女子学生に、リヴアサイド婦人会の好意による奨学金授業料と書籍代若干を授賞する。

○条件として姉妹都市との親善に協力する。卒業後は大学婦人協会に入会すること。

○希望者は書類を提出し面接による選考を受ける。当委員会は奨学金の管理、授与、学生指導の責任を負っているから毎月例会を持って親睦と指導に当っています困難なことは卒業後です。多くは行方知れず、協会に入会しないことは勿論、恩恵を受けた、彼の地の婦人会にもたよりをしない。日本の多くの奨学金の様に返済の義務は負いませんが、感謝はすべきと思います。日本の女子学生は忘恩と思はれ度くないと念願しています。私共の困難について、会員大方の御教示をお待ちして居ります。

仙台支部　大脇静枝

一九六二年度奨学生

蝦名惇子（東京大学工学部博士課程二年）

菊地道子（東北大学医学部大学院一年）

加藤　虹（東北大学教育学部三年）

大泉雅子（〃薬学四年）

高橋りう子（〃文学部四年）

根本昌枝（〃理学部三年化学）

秋場玲子（〃農学部三年水産）

春日井貴子（〃医学部三年）

川島美和子（〃　〃　〃）

堀内　曄（〃　〃　〃）

花坂瑛子（〃医学部二年）

大村祐子（〃文学部二年）

宮城妙子（〃医学部一年）

庄司宣子（〃文学部一年）

清野洋子（〃　〃）

小野勝子（〃教育学部一年）

東京より

四月二十八日午後一時半から、国際文化会館に於て三十七年度東京支部総会を開いた。三十六年度決算及事業報告、三十七年度予算の審議、新役員の選任を予定通り終り、引続き三時十五分から慶応大学教授池田弥三郎先生をお招きして、講演会を開催した。「若い人の心理」「これからの女子の教育」等について、大変興味深いお話を聞くことが出来た。豊かな先生の御経験から湧き出る話題はつきることがなく、時間のたつのが惜しまれた。

五月九日、新旧役員の事務引継ぎをかねて、今年度最初の会合を事務所で開いた。今年度の目標の一つは「会費の徴集はどうすれば最も効果的であるか」ということ。本部の会員部とも協力して会費完納にまで漕ぎ着きたい。それには、会員がこの会に関心と魅力を持たれるようにすることが必要であろう。今年は出来るだけ会員のための講演会なども開き、年二回位支部便りを発行の予定である。

（福永記）

新役員左の通り

支部長　福永サチ（大阪）

副支部長　若菜茂子（聖心）

同　〃　河本恵子（日本女）

同　会　計　石川不美（大阪）

同　書　記　片山秀子（聖心）

芝崎　公（大阪）

安中ハル（大阪）

神戸より

目には青葉山ほととぎすと、古人も咏んでおりますが誠に清々しい初夏になりました。皆様御機嫌よういらっしゃいますか。

○四月例会御報告

支部総会に引きつづき西岡和子姉の滞仏生活よりながめられたフランス婦人の日常について大変興味あるお話を伺いました。

○五月例会御報告

丹波立杭窯見学は二十六日快晴に恵まれて、途中二郎、吉川はいちごのさかり、東条町は鯉のぼりの製作地、その思いがけない歓迎に驚き、湖畔での昼食はそこそこに目的地へ。静かな川添いの陶郷、古代無形文化財に指定されている登窯はすぐそれとわかる。神戸新聞社文化事業局の御尽力を得て特にこの度グランプリを得られたという市野弘之氏による蹴轆轤の実演、鎌倉時代より伝わる名作観賞などの収獲に一同大満足、帰りの車中は堀出物の自慢話で賑わった。

村井孝子

会員だより

一二四月十八日から三週間、アジア地区大学保健専門家会議に出席のため海外に出張いたしました。その際、次の方々にお目にかかってＪＡＵＷからのご挨拶を申上げてきました。Mrs. R. Kirby, 香港大学婦人協会の副会長。このたびは電話でご挨拶申上げただけでした。一九五八年、香港がＩＦＵＷに加盟された時に、前ＩＦＵＷ会長 Leet 女史のすすめにより、欧洲からの帰路、当時書記をしておられたKirby夫人にお会いして祝辞を申上げたことがございました。

Mrs. A.F.S. Perera, セイロンの会長で、先年東京での大平洋婦人会議に出場された方、メキシコの総会では、ＩＦＵＷの副会長に立候補しておられます。

Miis D. Bisalputra, タイ協会の会長。国立大学の講師でまだ三四才の若さ。ご自分で私立の小中学校も経営しておられます。タイの協会では、三千二百バース（約二〇バースが米貨一ドル）の家賃を払って、事務所、台所、応接室等の備ったしょうしやなハウスをもっておられ、二五の大学生の寮室も備っています。

フィリッピンの会長の Mrs. G. T. Pecson は海外に旅行中でしたが、有名なフィリッピン女子大学の学長、Mrs. Benitez 始め多くの会員におあいして、夏季研究プログラムの指導等に活躍しておられる現状を拝見いたしました。中でもＷＨＯ主催の学校健康教育のセミナーを参観した際、大学婦人協会の書記をしておられるが、Mis. F. Generoso はその中核になって活躍しておられたのが印象的でした。

紙数の都合で以上簡単に御報告申上げます。

山西貞

一九五七年度ＪＡＵＷ奨学生平野茅子様は去る四月七日夜米国ケンブリッヂで永眠されました。平野様はマサチュセッツ工科大学の金属研究室で物理学方面の研究を五年間続けられ非常に優秀な研究学徒としてこの六月にはＰｈＤを受けられることになっておりました。そしてこの夏には輝しい業績と一才になられる御嬢様を最高のおみやげとして晴れの御帰国をなされる筈でございました。しかし、はからずもこの二月病魔にとりつかれ御入院、御夫君や教授始め周囲の方々のお手厚い御看護と祈りも空しく僅か入院一ケ月後にその短い生涯を閉ぢられました。平野様は研究の面で立派な数々の業績をあげたれ一方、ＪＡＵＷの会員との交際や、日本人留学生のお世話等にも大変力をつくされました。

日頃，本会のために，絶大な御支援をたまわっておりました前田多門先生がおなくなりになりました。六月七日，青山学院チャペルでおこなわれた告別式には本会代表が出席いたしました。

募金報告

募金累計（昭和37年2月28日現在）

募金合計	8,679,121	支出総計	1,269,648
利子合計	772,874		
計	9,451,995	差引現在高	8,182,347

保管状況

銀行貸付信託	6,600,000
割引興業債券	150,000
電話債券	150,000
山一債券投資信託	1,200,000
普通預金	82,347
計	8,182,347

昭和36年度募金状況（昭和36年3月1日～37年2月28日）

収入之部		支出之部	
募金合計	1,093,800	会議費	350
外部	726,500	人件費	15,000
会員	367,300	印刷費	15,000
利子合計	521,914	交通費	12,648
		消耗品費	6,953
内訳		一般諸経費	660
返還金		35年度事務所費	10,540
東京支部	5,000	36年度奨学金	100,000
大阪支部	40,000	支部返還金	120,000
神戸支部	2,200		300,000
愛知支部	9,050		100,750
岡山支部	41,000		
静岡支部	3,500		
収入合計	1,615,714	支出合計	681,901

事務局日誌

3. 2　会計監査
3. 3　学校教育委員会
3. 10　定例理事会
3. 23　臨時　〃
3. 22～24　文部省主催
　全国婦人教育研究集会
3. 31　大阪貿易センターにて
　大学婦人協会評議員会
4. 1　大阪四天王寺にて
　第5回大学婦人協会総会
4. 2　総会出席者の京都見物
4. 6　本部役員会
4, 28　国際文化会館にて
　東京支部総会
5. 7～21　国連主催
　人権セミナーにオブザーバーとして出席　若林花子，伊東滋子，田辺幸子
5. 17　セミナー出席の外国大学婦人協会々員との懇談会
　於品川プリンスホテル
5. 12　定例理事会
5. 31　常任理事会
6. 9　東京支部役員会
6. 11　粕谷氏宅にて国際委員会
6. 12　報道委員会
6. 16　定例理事会及びＩＦＵＷ総会出席者とＪＡＵＷ留学生川本氏を送る会

三十七年新入会員

（順不同）

渡辺登志子（大阪女子大）
芝崎　公（〃）
広沢　加寿（〃）
鈴木　正子（〃）
高木　美枝（〃）
山田　節子（津田塾大）
敷地　敬子（〃）
佐藤久仁子（〃）
中西美智子（〃）
鷲崎ヨウ子（聖心女子大）
徳田　節子（お茶の水大）
山田　靖子（〃）
岡田　珠子（〃）
島瀬　琴子（日本女子大）
小川みどり（〃）
平野　貴子（〃）
野原　純（東京女子大）
岩井　ソウ（〃）
鳥山　堯子（青山学院大）
鈴木　輝子（〃）
山田　裕子（早稲田大学）
林　桂子（〃）

いよいよ夏山のシーズン!!

計画は慎重が上にも慎重に
リーダーには経験豊富なベテランを

利殖の道も又けわしいものです
財産づくりのご相談は大商証券におまかせください

証券貯蓄で明るい一家

大商証券

東京・千代田・飯野ビル　(501) 4311
大阪・今橋・5の18　(202) 2131
その他全国主要都市　73ヶ所